

まちづくり交付金 事後評価シート  
打越地区

平成21年12月

東京都八王子市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	八王子市	地区名	打越地区			面積	20.0ha			
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,083百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		土地区画整理事業、高質空間形成施設(緑道整備)									
	提案事業		防犯対策事業(防犯灯・看板の設置)、いきいき健康まちづくり支援事業(ウォーキングロード距離標・健康器具の設置)									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし								
			提案事業	なし								
新たに追加した事業		基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	消防活動困難地域率	%	7	平成16年度	0	平成21年度	0	○	あり なし	区画整理事業の施行により、幅員5.5m以上の道路の整備と、道路工事に併せた消火栓の整備を行ったことにより消防活動困難地域を解消できた。	なし
	指標2	公園誘致圏外区域率	%	58	平成16年度	0	平成21年度	0	○	あり なし	区画整理事業の整備により地区内に平成21年度に公園工事を行うことにより、公園誘致圏外区域率が解消できる見込みとなった。	H22年4月末頃
	指標3	公園利用者の満足度	%	0	平成16年度	75	平成21年度	75	○	あり なし	公園の整備により住民の憩い、集いの場を提供するとともに、健康増進のための健康遊具の設置や、2つの公園を結ぶウォーキングルートの設定を行うことにより、住民の健康増進を図ることから、公園利用者の満足度が数値目標を達成できると思われる。	H22年4月末頃
	指標4									あり なし		
指標5									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な市街地の形成・住環境の改善(老朽住宅の建替促進)(狭隘道路の解消)ができた。</li> <li>当地区は周辺の整備から取り残されていたが、本事業で整備されたことにより一体的で良好な街並みを形成することができた。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

### 打越地区(東京都八王子市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
・近隣する他地区とともに、市東部の玄関にふさわしい地域拠点を形成する。 ・安全で健康に暮らせるまちづくり	消防活動困難地域率	単位: %	7 H16	0 H21	0 H21
	公園誘致圏外区域率	単位: %	58 H16	0 H21	0 H21
	公園利用者の満足度	単位: %	0 H16	75 H21	75 H21
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



**まちの課題の変化** 地区内に多かった幅員4m未満の狭隘道路がなくなり、代わりに区画整理事業で整備した幅員5mや6m道路が整備されたことにより、防災性、生活利便性の向上が図られた。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)** 地区東側に隣接する国道16号バイパスの渋滞を緩和するため、都市計画道路八3・5・43号線と京王電鉄高尾線との立体交差化の早期実現を目指し、南北の円滑な交通を図る。